

釜利谷南小学校 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

平成28年4月に6年生（57名）を対象に実施した全国学力・学習状況調査（国語・算数）の結果です。教科別学習状況調査の結果から、全体の平均正答率は、国語の主として知識に関する調査ではやや下回っていましたが、国語の活用と算数については、全国より上回っていました。

国語では、「書くこと」の知識と「話す・聞く」の活用力が、算数では知識全般が特に平均を大きく上回っていました。

全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題

国語A（知識）

全国の正答率を大きく上回った問題

- ・ 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する問題。

全国と比べて課題のある問題

- ・ 漢字やローマ字を正しく読む、書く問題。

国語B（活用）

全国の正答率を大きく上回った問題

- ・ 目的に応じて、質問したいことを整理する問題。
- ・ 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する問題。
- ・ 活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える問題。

全国と比べて課題のある問題

- ・ 目的や意図に応じてグラフを基に、自分の考えを書く問題。

算数A（知識）

全国の正答率を大きく上回った問題

- ・ 末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をする問題。
- ・ 小数の除法の計算をする問題。
- ・ 図形の構成要素に着目して、図形を構成する問題。
- ・ 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解する問題。

全国と比べて課題のある問題

- ・ 直方体における面と面の位置関係を理解する問題。

算数B（活用）

全国の正答率を大きく上回った問題

- ・ 乗法や除法の式の意味を解釈する問題。
- ・ 正方形に内接する円の半径について理解する問題。
- ・ 単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定する問題。
- ・ グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明する問題。

全国と比べて課題のある問題

- ・ 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述する問題。
- ・ 図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断する問題。

生活習慣・学習習慣（質問紙調査結果）※数値は肯定の回答率

特徴的な項目	釜利谷南小	全国
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。	☆45.6	60.4
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいですか。	☆40.3	54.8
家で、学校の宿題をしていますか。	★89.5	97.0
家で、学校の授業の復習をしていますか。	★28.1	55.2
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	★87.7	94.4
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。	★63.2	76.1
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	★80.6	92.7
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	★71.9	79.2

生活習慣・学習習慣（質問紙調査結果）は特徴的なものを載せています。

学習習慣では、国語の結果とも関連しますが、文章を書くことや自分の考えを話すことには抵抗がない児童が多いようです。本校の重点研究でも、「伝え合う力」をテーマに、話し合い活動や国語科の研究を進めてきたこともあり、成果が出ているようです。

しかし、学校の宿題や授業の復習に取り組んでいる児童の割合が全国平均に比べ、低いという結果が出ています。授業の復習に取り組んでいる児童は全国平均の半数ほどに留まっています。中学校進学に向けて、家庭学習の習慣が身につくとよいです。

もう一つ課題として挙げられるのが、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」という質問に対して肯定の回答をしている児童が全国に比べやや少ないことです。お互いを認め合う場面をつくり、自己肯定感を高めていけるよう支援していきます。

家庭生活では、「早寝・早起き・朝ごはん」の面では、全国平均並みか、やや下回っていました。家の人と学校のことについて話す機会も全国に比べ少ない傾向にあるようです。基本的な生活習慣・家庭学習への取り組みについては、改善に向けて家庭と連携しながら取り組んでいきます。